第16号様式（第41条関係）
その１

指定作業場　設置／変更　届出書

年　　月　　日

町 田 市 長　様

住　所
氏　名

（法人にあっては名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例　第89条／第90条　の規定により、関係書類を添えて、次のとおり届け出ます。

既設置番号等	設置番号・年月日	第　　号　　年　　月　　日							
	変更事由	1	指定作業場の種類	2	作業の方法	3	建物・施設の構造又は配置	4	ばい煙等の防止の方法
指定作業場の名称									
指定作業場の所在地									
指定作業場の種類						病院にあっては、病床数		床	
地域等	用途地域				水域				
自動車の出入口が接する道路の幅員	m	50メートル以内の学校・保育所・病院・診療所・図書館・特別養護老人ホーム・幼保連携型認定こども園の所在位置		△別紙（　　）のとおり					
作業時間	時から　　時まで（　　時間）								
工事着工予定	年　　月　　日	工事完成予定		年　　月　　日					
従業員数（常用雇用者数）	人（　　人）	廃止予定		年　　月　　日					
連絡先	所　　属 氏　　名　　電話番号 ファクシミリ番号　　電子メールアドレス								
※受付欄									

備考　１　※の欄には、記入しないこと。
２　△印の欄には、届出書に添付する各別紙に一連番号を付けた上、該当する別紙の番号を記入すること。
３　変更届として使用するときは、「指定作業場の名称」及び「指定作業場の所在地」以外の欄には、変更のある欄のみ記入すること（添付する別紙についても同じ。）。
４　「指定作業場の種類」の欄には、条例別表第２に掲げる指定作業場のうち該当するものを記入すること。
５　「用途地域」の欄には都市計画法第８条第１項第１号に規定する用途地域を、「水域」の欄には条例別表第７　４の部の付表の水域細区分の欄に掲げる水域を記入すること。
６　「診療所」は、患者を入院させるための施設を有するものに限る。

（日本産業規格Ａ列４番）

その２

<table>
<tr><td rowspan="9">敷地・建物の状況</td><td colspan="2">建物・施設の配置</td><td colspan="4">△別紙（　　）のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">敷地面積（㎡）</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="6">作業場の棟別構造・面積</td><td>棟の名称</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>用途</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>階数</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>構造</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>建築面積（㎡）</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>作業場面積（㎡）</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="6">主たる施設の能力等</td><td colspan="2">種類</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">公称能力</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">動力（ｋW）</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">台数</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">別紙番号</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">構造・使用の方法</td><td colspan="4">△別紙（　　）のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="3">事業場で取り扱う有害ガス又は有害物質</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td colspan="3">作業の方法</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td colspan="3">公害防止の方法</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

備考　１　「建物・施設の配置」の欄及び「構造・使用の方法」の欄の別紙は、施行規則別記第16号様式の別紙のうち、該当する様式を使用すること。

２　「事業場で取り扱う有害ガス又は有害物質」の欄には、条例別表第３の各号に掲げる物質又は別表第４の各号に掲げる物質のうち事業場で取り扱っているものを記入すること。

別紙１

レディミクスコンクリート製造場又はセメントサイロ

施設番号						
種類・名称・型式						
主要寸法（ｍ）又は処理能力（ｔ／日）						
使用開始（予定）年月日						
原材料	種類別使用量					
	貯蔵量					
粉じんの防止方法	建物の概要					
	集じん装置	集じん装置の種類・形式				
		集じん装置の効率（%）				
		送風機の原動機出力（ｋW）				
	散水	装置の種類・型式				
		装置の能力（㎥/日）				
		運搬量当たりの散水量（ℓ／ｔ）				
	防じんカバーの設置状況					
	その他	方法				
事業用自動車	車種					
	用途					
	積載量					
	台数					
	一日当たりの出入回数					
敷地内建物及び施設の配置並びに自動車の通行経路図						

備考　指定作業場の種類ごとに、該当する欄のみ記入すること。

別紙２

自動車駐車場
自動車ターミナル
ガソリンスタンド、液化石油ガススタンド、天然ガススタンド
自動車洗車場

収容台数・停留台数・同時給油台数・洗車台数	総数		大型車	
			中型車	
			小型車	
一日の出入台数				
貨物の種類				
洗浄機の型式			原動機の定格出力	
貯蔵タンクの基数			貯蔵総量（単位）	（kℓ・t・㎥）

各貯蔵タンク毎の貯蔵物質名	タンクの内容積等（単位）	炭化水素系物質の排出防止設備	
		設備の有無	設備の種類
	（kℓ・t・㎥）	有・無	1　ベーパーリターン 2　その他（　　）
	（kℓ・t・㎥）	有・無	1　ベーパーリターン 2　その他（　　）
	（kℓ・t・㎥）	有・無	1　ベーパーリターン 2　その他（　　）
	（kℓ・t・㎥）	有・無	1　ベーパーリターン 2　その他（　　）
	（kℓ・t・㎥）	有・無	1　ベーパーリターン 2　その他（　　）
	（kℓ・t・㎥）	有・無	1　ベーパーリターン 2　その他（　　）

敷地内建物及び施設の配置並びに自動車の通行経路図

備考　1　指定作業場の種類ごとに、該当する欄のみ記入すること。
　　2　この様式各欄に記入しきれないときは、図面、表等を利用すること。
　　3　貯蔵物質が液化石油ガスの場合、「タンク内容積等」欄には重量で記入すること。

別紙３

廃棄物の積替え場所又は保管場所
ウエスト・スクラップ処理場
材料置場

廃棄物 ウエスト・スクラップ 材料 残土		種類			
		積み替え量（t）			
		収容量又は保管量（t）			
		最大保管量（t）・最大保管高さ（m）			
一日当たりの処理量（t）					
面積					
粉じん等の防止方法	保管方法及び建築物の概要				
	防止の方法 粉じん				
	防止の方法 騒音				
	防止の方法 振動				
	防止の方法 悪臭				
	防止の方法 汚水				
事業用自動車・作業用機	車種				
	積載量（t）				
	台数				
	一日当たりの出入回数				
敷地内建物及び施設の配置図					

備考　指定作業場の種類ごとに、該当する欄のみ記入すること。

別紙４

死亡獣畜取扱場、と畜場又は畜舎

規模			と畜場（と殺頭羽数） 畜舎（飼養頭羽数） 死亡獣畜取扱場（処理量ｔ／日）		
季節変動					
取水源別利用水量			上水道　　㎥／日 工業用水道　　㎥／日 地下水　　㎥／日 その他（　　）　　㎥／日 計　　㎥／日	汚水・汚物の処分方法	1　汚水処理施設 2　肥料 3　大地還元 （地下浸透を含む。） 4　河川投棄 5　山林投棄 6　乾燥焼却 7　その他（　　）
汚水の水質	水量（㎥／日）	処理前			
		処理後			
	水素イオン濃度（ｐＨ）	処理前			
		処理後			
	生物化学的酸素要求量（mg/ℓ）	処理前			
		処理後			
	浮遊物質量（mg/ℓ）	処理前			
		処理後			
汚水処理施設	種類				
	能力		㎥/日		
	処理方法		△別紙（　　）のとおり		
処理汚泥	発生量		ｔ／月　　（水分　　％）		
	処分方法				
参考事項			飼料の種類　　平均給餌量　　kg／日		

備考　１　指定作業場の種類ごとに、該当する欄のみ記入すること。
　　２　「汚水・汚物の処分方法」欄は、該当するものを○で囲むこと。

別紙５

青写真又は工業用材料薬品小分けの作業場

反応槽又は貯蔵槽の容量（m^3）				
材料品使用量又は薬品取扱量（kg・kℓ/日）				
材料品又は薬品貯蔵量（kg・kℓ）				
敷地内建物又は作業場内施設の配置図				

備考　指定作業場の種類ごとに、該当する欄のみ記入すること。

別紙６

食　物　の　燻（くん）　蒸　場

燻（くん）蒸室の容量（㎥）			
被燻（くん）蒸食物	種　　類		
	収　容　棚　数		
	季　節　変　動		
有害ガスの使用状況・排出状況	使用ガスの種類		
	使用ガスの量（㎥N）		
	燻（くん）蒸室の室内濃度（㎎／㎥N）		
	最大排出量（㎥N／ｈ）		
	最大排出時間（ｈ）		
	通常時の排出量（㎥N／ｈ）		
	処　理　の　方　法		

室内におけるガスの流れ系路図

別紙７

めん類製造場、豆腐又は煮豆製造場、砂利採取場及び洗濯施設を有する事業場

施設の種類・名称・型式・構造・主要寸法（m）				
１日の使用時間・１月の使用日数			時～　　時 日／月	時～　　時 日／月
季節変動				
原材料の種類・１日の使用量・使用方法				
排水量（㎥／日）				
汚水の水質	水素イオン濃度（ｐＨ）	処理前		
		処理後		
	生物化学的酸素要求量（㎎／ℓ）	処理前		
		処理後		
	浮遊物質量（㎎／ℓ）	処理前		
		処理後		
	のその他の項目（　　）	処理前		
		処理後		
汚水処理施設	種類			
	能力		㎥／日	㎥／日
	処理方法		△別紙（　　）のとおり	
処理汚泥	発生量			
	処分方法			
参考				

備考　「汚水の水質」欄のうちの「その他の項目」の欄には、条例別表第７　４の部(1)の表の(1)から(26)までに掲げる各項目、同別表　４の部(2)イ(エ)の表の(8)から(15)まで及び(17)の項目並びに窒素含有量及び燐含有量のうち、当該指定作業場から排出されるもの全てを記入すること。また、（　）には、単位を記入すること。

別紙８

廃油処理施設を有する事業場、汚泥処理施設を有する事業場、し尿処理施設を有する事業場、工場・作業場等から排出される汚水の処理施設を有する事業場及び下水処理場

処理施設の事業場における施設番号			
種類・名称・型式			
使用開始(予定)年月日			
構造			
主要寸法(m)			
能力(㎥／日)			
処理の方式			
使用薬材	薬材名		
	用途		
	１日の使用量(kg･kℓ)		
使用状況	１日の使用時間・１月の使用日数	時～　時　日／月	時～　時　日／月
	季節変動		

処理に係る汚水の量及び水質		処理前		処理後		処理前		処理後	
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
汚水量(㎥／日)									
水素イオン濃度(pH)									
生物化学的酸素要求量(mg/ℓ)									
化学的酸素要求量(mg/ℓ)									
浮遊物質量(mg/ℓ)									
その他の項目	(　)								
	(　)								
	(　)								
	(　)								

各排水口の汚水の量及び水質

排水口番号		汚水量(㎥／日)	水素イオン濃度(pH)	生物化学的酸素要求量(mg／ℓ)	化学的酸素要求量(mg／ℓ)	浮遊物質量(mg／ℓ)	その他の項目				
							(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	通常										
	最大										
	通常										
	最大										
	通常										
	最大										

汚泥及び廃液		
	種類	
	生成量(kg／日)	
	処理方法の概要	

備考　「処理に係る汚水の量及び水質」欄及び「各排水口の汚水の量及び水質」欄中「その他の項目」の欄には、条例別表第７　４の部(1)の表の(1)から(26)までの項目、同別表　４の部(2)イ(ｱ)、(ｲ)又は(ｴ)の表の(8)から(15)まで及び(17)の項目並びに窒素含有量及び燐含有量のうち、当該指定作業場から排出されるものすべてを記入すること。また、(　)には、単位を記入すること。

別紙９

暖房用熱風炉、ボイラー、ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関、ガソリン機関又は焼却炉を有する事業場

施設番号						
種類・名称・型式						
設置年月日						
着手予定年月日						
使用開始（予定）年月日						
構造						
規模	伝熱面積又は火床面積(m^2)					
	燃料の燃焼能力（ℓ／ｈ、m^3N/ｈ）					
	焼却能力（ｋｇ／ｈ）					
使用状況	１日の使用時間・１月の使用日数		時～　時 日／月	時～　時 日／月	時～　時 日／月	時～　時 日／月
	季節変動					
燃料	種類					
	灰分・いおう分（%）					
	１日の使用量					
廃棄物の種類・量（ｔ/日）						
ばい煙の処理の方法						
総排出物の量(m^3N/h)・温度（℃）						
総排出物中の酸素濃度（%）						
ばい煙の濃度	ばいじんの濃度（g/m^3N）	処理前				
		処理後（効率：％）				
	いおう酸化物の濃度（容量比ppm）	処理前				
		処理後（効率：％）				
	窒素酸化物の濃度（容量比ppm）	最大 処理前				
		最大 処理後（効率％）				
		通常 処理前				
		通常 処理後（効率％）				
煙突・排気塔	高さ（m）					
	頂口径（m）					
	排出速度（m/s）					
参考事項						
敷地内建物又は室内施設の配置図						

備考　１　指定作業場の種類ごとに、該当する欄のみ記入すること。
　　２　「灰分・いおう分（%）」の欄の記入に当たっては、重量比又は容量比の別を明らかにすること。
　　３　「ばい煙濃度」は、乾きガス中の濃度とする。

別紙１０

浄水施設を有する事業場

浄水施設の事業場における施設番号			
種類・名称・型式			
使用開始(予定)年月日			
浄水の方法			
構造			
主要寸法(m)			
能力(m³／日)			
原水		原水の種類 取水量　　m³／日	原水の種類 取水量　　m³／日
消毒設備	消毒剤の種類		
	1日の使用量(kg･kℓ)		
その他の使用薬材	薬材名		
	用途		
	1日の使用量(kg･kℓ)		
季節変動			
発生汚水の処理施設		△別紙(　　)のとおり	△別紙(　　)のとおり

汚水の量及び水質		処理前		処理後		処理前		処理後	
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	汚水量(m³／日)								
	水素イオン濃度(pH)								
	生物化学的酸素要求量(mg/ℓ)								
	化学的酸素要求量mg/ℓ)								
	浮遊物質量(mg/ℓ)								
その他の項目	(　)								
	(　)								
	(　)								
	(　)								

各排水口の汚水の量及び水質

排水口番号		汚水量(m³／日)	水素イオン濃度(pH)	生物化学的酸素要求量(mg／ℓ)	化学的酸素要求量(mg／ℓ)	浮遊物質量(mg／ℓ)	その他の項目				
							(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	通常										
	最大										
	通常										
	最大										

汚泥及び廃液		
	種類	
	生成量(トン／日)	
	処理方法の概要	

備考　「汚水の量及び水質」欄及び「各排水口の汚水の量及び水質」欄中「その他の項目」の欄には、条例別表第７４の部(1)の表の(1)から(26)までの項目、同別表　４の部(2)イ(エ)の表の(8)から(15)まで及び(17)の項目並びに窒素含有量及び燐含有量のうち、当該指定作業場から排出されるものすべてを記入すること。また、(　)には、単位を記入すること。

別紙１１

病院及び科学技術に関する研究、試験、検査を行う事業場

汚水の発生施設の事業場における施設番号			
種類・名称・型式			
使用開始(予定)年月日			
構造			
主要寸法（m）			
能力（㎥／日）			
使用薬材	薬材名		
	用途		
	１日の使用量（kg･kℓ）		
使用状況	１日の使用時間・１月の使用日数	時～　時　日／月	時～　時　日／月
	季節変動		
発生汚水の処理施設		△別紙（　）のとおり	△別紙（　）のとおり

汚水の量及び水質

	処理前		処理後		処理前		処理後	
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
汚水量（㎥／日）								
水素イオン濃度（ｐＨ）								
生物化学的酸素要求量(mg/ℓ)								
化学的酸素要求量(mg/ℓ)								
浮遊物質量(mg/ℓ)								
その他の項目（　）								
その他の項目（　）								
その他の項目（　）								
その他の項目（　）								

各排水口の汚水の量及び水質

排水口番号		汚水量（㎥／日）	水素イオン濃度（pH）	生物化学的酸素要求量（mg／ℓ）	化学的酸素要求量（mg／ℓ）	浮遊物質量（mg／ℓ）	その他の項目（　）	その他の項目（　）	その他の項目（　）	その他の項目（　）	その他の項目（　）
	通常										
	最大										
	通常										
	最大										

汚泥及び廃液	種類	
	生成量（トン／日）	
	処理方法の概要	
その他	有害ガスの種類	
	処理施設	△別紙（　）のとおり

備考　１　「汚水の発生施設」とは、ちゅう房施設、入浴施設、洗浄施設など水質汚濁防止法施行令別表第１　68の2及び71の2に掲げる施設等をいう。

２　「汚水の量及び水質」欄及び「各排水口の汚水の量及び水質」欄中「その他の項目」の欄には、条例別表第７　４の部(1)の表の(1)から(26)までの項目、同別表　４の部(2)イ(エ)の表の(8)から(15)まで及び(17)の項目並びに窒素含有量及び燐含有量のうち、当該指定作業場から排出されるものすべてを記入すること。

別紙１２

地下水揚水施設の構造等

揚水施設	名称又は番号	
	設置・変更予定年月日	年　月　日
	さく井年月日	年　月　日
	深度（地表面下ｍ）・側管口径(㎜)	深度　ｍ、側管口径　㎜
	ストレーナーの位置（地表面下ｍ）	ｍ～　ｍ、　ｍ～　ｍ ｍ～　ｍ、　ｍ～　ｍ
揚水機	種類・名称・型式	
	原動機の出力・揚水能力	kW　ℓ／分
	吐出口断面積	㎠
水量測定器	種類・名称・型式	
	検定年月日	
地下水位	計測方法（計器名称）	
	静止水位、揚水水位(地表面下m)	ｍ　ｍ
地下水揚水量		㎥　（１日平均）
地下水の用途		
施設数、吐出口断面積の合計、地下水揚水量の合計		
変更前	施設数、吐出口断面積の合計	本　㎠
	地下水揚水量の合計	㎥　（１日平均）
変更後	施設数、吐出口断面積の合計	本　㎠
	地下水揚水量の合計	㎥　（１日平均）
揚水施設担当者 所属、氏名、電話番号		

備考　１　必要に応じ図面を添付のこと。

２　複数の揚水施設の設置（変更）の場合は、地下水揚水施設の構造等について、揚水施設別に作成のこと。ただし、「施設数、吐出口断面積の合計、地下水揚水量の合計」の欄については１枚目に記入し、２枚目以降には記入しないこと。

３　完成後、揚水試験を実施したときは、その報告書の写しを提出すること。